

令和8年度 大阪府障がい児等療育支援事業専門研修会

# 「応用行動分析からみる本人の気持ち」

星槎大学大学院教育学研究科  
日本ポーターズ協会

西永 堅

# 応用行動分析学の特徴

## ① 行動は、**個人**と**環境**の相互作用

行動の原因を**内的な仮説構成概念**に求めない  
(ex 自閉症だから 愛情不足だから 自信がないから  
自己肯定感が低いから)

## ② 問題行動は、 適切な行動の**未学習**か不適切な行動の**誤学習** **適切なスキル**の獲得を目指す

自閉症は、言語認知の発達の問題  
⇒ 発達障がい

親の**愛情**不足が原因ではない

# 応用行動分析

## ABC分析

(Antecedent → Behavior → Consequence)  
先行刺激                      行動                      後続刺激

⇒ **フィード・バック**をもっとも  
重要視する考え方

具体的な行動目標が大事

Antecedent → Behavior → Consequence

暗い ⇒ 電気をつける ⇒ 明るい

のどが 渴く ⇒ 水を飲む ⇒ のどが 潤う

注目が ない ⇒ 騒ぐ ⇒ 注目 される

Antecedent → Behavior → Consequence

無表情 ⇒ こんにちは ⇒ にっこり

怒り ⇒ ごめんなさい ⇒ にっこり

スマホはフィードバック

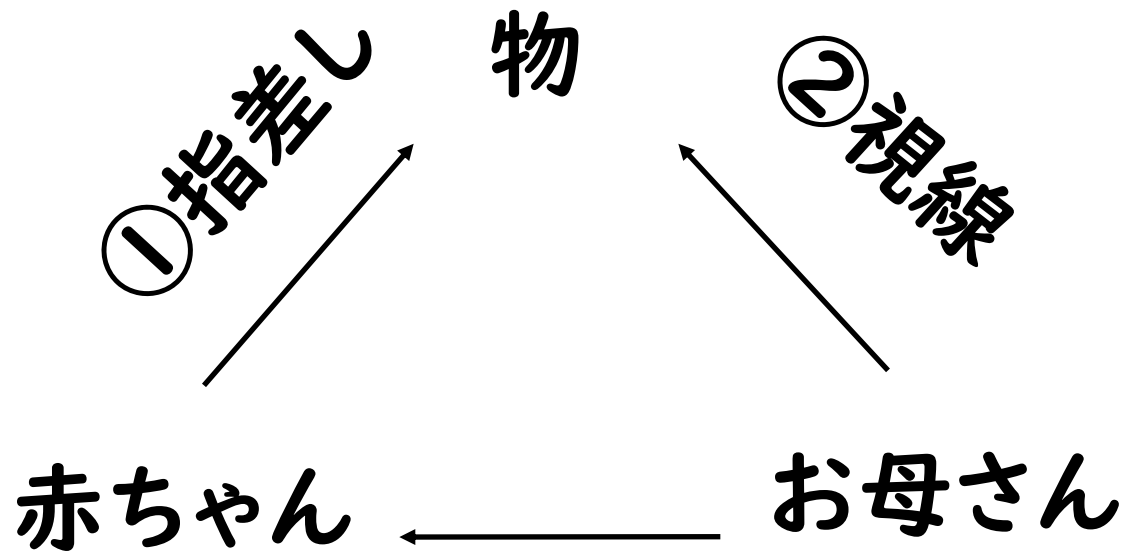
地図アプリ 反応が遅いとイライラする

無誤学習 失敗を学ぶときもエラーレス

がんばれ より がんばったね

# 言語発達における三項関係

## ・共同注視



③ことば添え

認知とは、

記憶や経験でものを通してみているので、

先行刺激でおしても、  
子どもによって、理解が異なる

人間は目でものを見ているのではなく、  
耳で音を聞いているのではない。

# 4つの基本的随伴性

|           | 出現      | 消失      |
|-----------|---------|---------|
| 好子（正の強化子） | 強化 ↑    | 弱化(罰) ↓ |
| 嫌子（負の強化子） | 弱化(罰) ↓ | 強化 ↑    |

**消去**：なにも随伴させない

60秒ルール・それ以降はルール支配行動

行動が増えることが**強化** 行動が減ることが**弱化**

「ネガティブフィードバック」という一般語と距離がある

負の強化・弱化は後続刺激を取り除くことで行動が増えたり減ったりすること



# 具体例を考えてみよう

増やしたい行動の場合

正の強化(増) トイレ掃除をする → 褒められた

(いいことが起きる)

負の強化(増) トイレ掃除をする → 汚れが取れた

(嫌なことが無くなる)

許してもらえた

正の弱化(減) トイレ掃除をする → まだ汚いって

(嫌なことが起きる)

怒られた

負の弱化(減) トイレ掃除をする → 洋服が濡れた

(いいことが無くなる)

行動の機能は、**文脈**によって大きく変わる

減らしたい行動の場合

正の強化(増) 食べ過ぎる → おいしかった

負の強化(増) 食べ過ぎる → ストレス解消

正の弱化(減) 食べ過ぎる → 怒られる

負の弱化(減) 食べ過ぎる → 健康を損なう  
罰金

問題行動を減らすより、  
それに代わる適切な行動を増やすことが大事

**意識**は0.5秒遅れてやってくる  
(ベンジャミン・リベット)

⇒ 自由意志で動いているのではなく,  
**無意識**で行動が始まっている

⇒ 行動のあとに, 人間は**言語**で, フィードバックができる. (内省, 省察)

学習は, 自動化(無意識化)するプロセス

計算 文字 ブラインドタッチ 階段

千切り 自転車 ゲーム 日記 ルーティンワーク

ノエル バーチ 無意識的有能

無意識的無能  
意識的無能  
意識的有能  
無意識的有能

わからないしできない  
知っていてもできない  
考えながらする  
考えなくてもできる

無意識的有能に意識的有能

ソーシャルスキルがないと決めつけるのではなく、

挨拶スキルを獲得しよう  
我慢スキルを獲得しよう  
お手伝いスキルを獲得しよう  
共感スキルを獲得しよう

一人ひとりに対して、  
具体的な行動目標を設定することが大事。

アセスメントの重要性

# スキル

技能と訳されてしまったが、  
テクニックとは違い、  
学習性の能力のこと

知識・技能， 思考・判断・表現

気持ちも，心も，言語行動である。

（ぽんぽん痛い）

マンド・要求言語

タクト・叙述言語

周りのフィードバックの重要性

精神論は、人を逆に傷つけることもある

がんばれ！ よりも がんばってるね  
すごいね！

やさしくなって よりも やさしいね！

料理を美味しく作って よりも おいしいね！

# 機能分析とは

不適切な行動を減らそうとするのではなく、  
それに変わる**同機能**の適切な行動を増やすことを  
目標とする

廊下を走らない ⇒ 廊下を歩く

暴言を吐く ⇒ 上手なコミュニケーション  
スキルを育てる

友達を叩く ⇒ 貸して



# 「問題行動」の機能

- ①要求（事物、活動）欲しいものがあるから叩く
- ②注目 暇な時，退屈な時
- ③逃避・回避 （勉強しなさいなど怒られた時）
- ④感覚刺激（自己刺激）（暇な時，時間を潰す）

表出言語などコミュニケーション手段をもたない  
機能的に等価な強化刺激によって形成・維持  
されている非言語的コミュニケーション手段

# 誤学習へのアプローチ

一度学習してしまったことを, 忘れさせるのは相当難しい

飲酒・たばこ・ドラッグ・サボリ・癖など

叱られたり, 罰が与えられても,  
かえって強化されてしまうリスクがある

不適切な行動は無視(消去)を目指し,  
代替行動の強化を目指す.

達成可能でより具体的な行動目標の設定が重要

**勝ち組と呼ばれる人**

**集団内で発達が早い，課題が容易，成功回数が  
多い，よく褒められ，怒られることが少ない  
努力に対しても結果が随伴する。**

**発達障がいがあると言われる子ども**

**集団内で発達が遅い，課題が困難，成功回数が  
少ない，褒められることが少なく，怒られること  
が多い**

**努力をしても結果が伴わない**

**障がいは，できないことの原因ではなく，  
できないことの結果**

私たちは「**逆さ認知**」に支配されてしまっている

ADHDだから多動だと言われる

でも本当は多動だからADHDと診断されている  
のにすぎない

がんばればできるのではなく、  
できることならがんばることができる

がんばりは、原因ではなく結果

言葉がけ よりも 言葉添え

# リニューアル版 『ポータージ早期教育プログラム - 0歳から家庭でできる発達支援ガイド -』



### ③6つの発達領域に561の行動目標

| チェックリストの6つの発達領域 |                                    |     |
|-----------------|------------------------------------|-----|
| 乳児期の発達<br>(45)  | 生後6か月までの発達が未分化な時期に達成される行動目標        | 水色  |
| 社 会 性<br>(85)   | 模倣や遊び、親や他の子ども、環境との相互作用に関する行動目標     | 灰色  |
| 言 語<br>(88)     | 言葉の理解、言葉の使用、言語を使つての思考・記憶して叙述する行動目標 | 薄緑色 |
| 身辺自立<br>(100)   | 食事、衣服の着脱、排泄、衛生、安全に関する行動目標          | 黄色  |
| 認 知<br>(110)    | 事物の照合や弁別、比較、概念を形成する能力などに関する行動目標    | 薄桃色 |
| 運 動<br>(133)    | 身体全体を使う粗大運動、手指を使う微細運動に関する行動目標      | 薄朱色 |

# 児童発達支援ガイドライン 5領域

## 令和6年度報酬改訂

「個別支援計画の指定児童発達支援の具体的な内容等の記載において、5領域との関連性を明記すること」

「5領域とのつながりを明確化した事業所全体の支援内容を示すプログラム（支援プログラム）の作成・公表」

健康・生活

（身辺自立）

運動・感覚

（運動）

認知・行動

（認知）

言語・コミュニケーション

（言語）

人間関係・社会性

（社会性）

# チェックリスト（運動 1-2、2-3、3-4 の一部）の記入例

| 年齢<br>段階 | カード<br>番号 | 行 動 日 標                         | 最初の<br>評定 | 目標達成<br>年月日 | 生活<br>年齢 | 備 考                  |
|----------|-----------|---------------------------------|-----------|-------------|----------|----------------------|
|          | 61        | 片手を支えられて、階段をのぼる                 | ○         |             |          |                      |
|          | 62        | 腕を回して円を描くような動作をする               | ○         |             |          |                      |
|          | 63        | 口の周りについた食べ物をなめる                 | ○         |             |          |                      |
| 2-3      | 64        | 2 分間で大きなビーズを 4 個通す              | ○         |             |          |                      |
|          | 65        | その場で両足跳びをする                     | ○         |             |          |                      |
|          | 66        | 後ろ向きに 2m くらい歩く                  | ○         |             |          |                      |
|          | 67        | 片手を支えられて、階段をおりる                 | ○         |             |          |                      |
|          | 68        | 1.5m くらい離れた大人に、動かなくても取れるボールを投げる | ○         |             |          |                      |
|          | 69        | 積み木を 6 個積む                      | ○         |             |          |                      |
|          | 70        | 1 ページずつ絵本をめくる                   | ○         |             |          |                      |
|          | 71        | すべり台の階段をのぼり、1 ～ 2m すべる          | ○         |             |          |                      |
|          | 72        | まねをして、紙を半分に折る                   | —         |             |          | 紙をくしゃくしゃにするだけでやらない   |
|          | 73        | ブロックなどを両手に持って、はめたりはずしたりする       | ○         |             |          |                      |
|          | 74        | びんのふたなどを回してはずす                  | —         |             |          | 少し回すがはずすことはない        |
|          | 75        | 置いてあるボールを蹴る                     | ○         |             |          |                      |
|          | 76        | 親指、人さし指、中指でクレヨンを持つ              | △         |             |          | 2 回に 1 回は人さし指を使わない   |
|          | 77        | 支えられて、でんぐり返しをする                 | —         |             |          | いやがってやろうとしない         |
|          | 78        | 正方形の紙を対角線に沿って三角形に 1 回折る         | —         |             |          |                      |
| 3-4      | 79        | 5 本のペグを木づちなどでたたいて入れる            | ?         |             |          | このおもちゃがないのでやらせたことがない |
|          | 80        | シールを台紙からはがして貼る                  | —         |             |          | シールをはがすが指についてうまく貼れない |



# ポータージ相談の進め方

〈P(計画) D(指導) C(評価) A(改善) サイクル〉

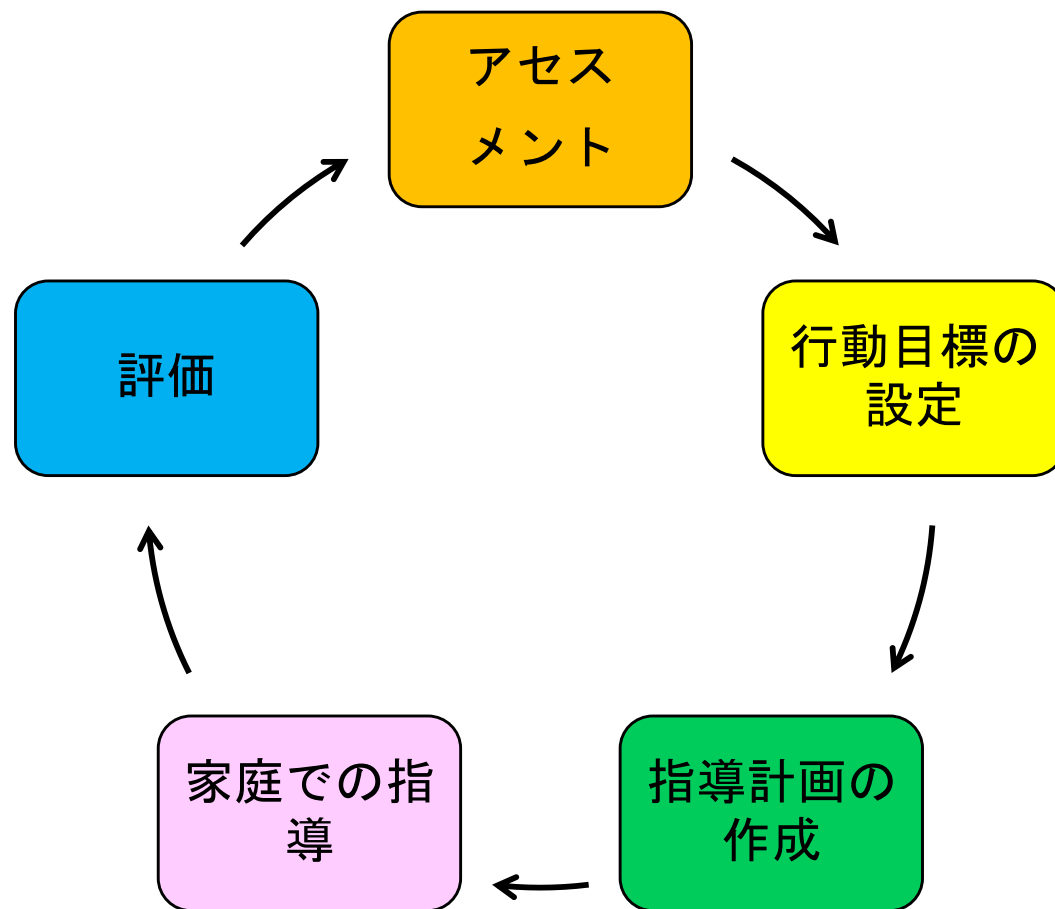


図2 ポータージプログラムの指導の進め方

## まとめ

- ① 応用行動分析は、心など内的なものを行動の原因にせず、行動は、個人と環境の相互作用の結果と考える。
- ② 心を否定しているのではなく、心は、言語行動であり、三項強化随伴性で説明できる
- ③ フィードバックを大切にしていけることが重要である。